

2015年3月期（2014年度） 主要建設会社決算分析

2015年6月11日



RICE

一般財団法人 **建設経済研究所**

〒105-0003 東京都港区西新橋3-25-33NP御成門ビル8F

Tel: 03-3433-5011 Fax: 03-3433-5239

URL: [http:// www.rice.or.jp](http://www.rice.or.jp)

◆目次

1. 調査の目的
2. 分析対象会社
3. 報告要旨
4. 主要分析結果
 - ① 受注高
 - ② 売上高
 - ③ 売上総利益
 - ④ 販売費及び一般管理費
 - ⑤ 営業利益
 - ⑥ 経常利益
 - ⑦ 特別利益・特別損失
 - ⑧ 当期純利益
 - ⑨ 有利子負債
 - ⑩ 自己資本比率・デットエクイティレシオ
 - ⑪ キャッシュフロー
5. 参考資料

◆1. 調査の目的

一般財団法人建設経済研究所では、1997年より主要建設会社の財務内容を階層別に経年比較分析することにより、建設業の置かれた経済状況とそれに対する各企業の財務戦略の方向性について、継続的に調査しています。

今回の発表は、各社の決算短信等から判明する2015年3月期の財務指標の分析を提示するものです。なお、一部の分析対象会社については2014年12月期決算を採用しています。

資料の提供を頂いた各社には、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

(お問合せ先) 一般財団法人 建設経済研究所

専務理事 長谷川 啓一

総括研究理事 大野 雄一

研究員 菅原 克典

小田 雅哉

電話 : 03-3433-5011 FAX : 03-3433-5239

◆2. 分析対象会社

(1) 対象会社の抽出

全国的に業務展開を行っている総合建設会社を念頭に、以下の要件に該当し、過去直近3年間の連結売上高平均が上位の40社を抽出した。

- ① 建築一式・土木一式の売上高が恒常的に5割を超えていること。
- ② 会社更生法、民事再生法などの倒産関連法規の適用を受けていないこと。
- ③ 非上場等により決算関係の開示情報が限定されていないこと。

(2) 階層分類

売上高規模別に、以下の3つの階層に分類した。

2014年度

階層	連結売上基準 (3年間平均)	分析対象会社	社数
大手	1兆円超	鹿島建設、大林組、大成建設、清水建設、竹中工務店	5社
準大手	2,000億円超	長谷工コーポレーション、戸田建設、安藤・間、前田建設工業、五洋建設、三井住友建設、熊谷組、西松建設、東急建設	9社
中堅	2,000億円以下	奥村組、東亜建設工業、浅沼組、鉄建建設、東洋建設、銭高組、ナカノフード建設、福田組、大豊建設、飛鳥建設、青木あすなろ建設、ピーエス三菱、東鉄工業、大本組、名工建設、松井建設、矢作建設工業、大和小田急建設、若築建設、北野建設、新日本建設、不動テトラ、第一建設工業、大末建設、徳倉建設、植木組	26社

※一部の分析項目については、開示していない企業もあるため、対象企業が40社に満たないものがある。

※非連結を含め、連結数値が不明な企業については、単体数値を採用した。

※受注高は、原則として単体で集計している。ピーエス三菱、矢作建設工業は、受注高の集計対象から外した。

◆3. 報告要旨

- 受注高は、大幅な増加となった 2013 年度に引き続き全階層で増加した。建築部門は、消費税増税前の駆け込み需要があった 2013 年度比でも増加し、土木部門は、大型公共工事が寄与して大幅に増加した。総計では、リーマンショック前の水準に匹敵している。

- 売上高は、好調な受注を背景に手持ち工事が増加したことにより、全階層で増加した。

- 売上総利益は、利益額・利益率ともに全階層で増加・上昇した。

- 営業利益は、利益額・利益率ともに全階層で増加・上昇し、全 40 社が営業黒字を確保した。

- 当期純利益は、利益額・利益率ともに全階層で増加・上昇し、全 40 社が最終黒字を確保した。

◆4. 主要分析結果

① 受注高（単体）

【 受注高合計 】

受注高／前年同期比(増加率) 単位:百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
		(増加率)		(増加率)		(増加率)		(増加率)
10年度	4,786,643		2,413,356		1,754,966		8,954,965	
11年度	5,165,845	7.9%	2,532,480	4.9%	1,764,613	0.5%	9,462,938	5.7%
12年度	5,194,179	0.5%	2,522,720	▲ 0.4%	1,942,551	10.1%	9,659,450	2.1%
13年度	6,136,098	18.1%	3,106,091	23.1%	2,301,534	18.5%	11,543,723	19.5%
14年度	6,496,573	5.9%	3,769,616	21.4%	2,501,906	8.7%	12,768,095	10.6%

今年度予想(大手) 単位:百万円

	受注予想額	増加率
15年度予想	5,820,000	▲ 10.4%

- 受注高は、2013年度の伸び率には及ばないものの、部門では土木、階層では「準大手」を中心に伸び、総計で前年同期比 10.6%増の 12.7 兆円となり、近年に見られない大きな水準となった。
- 全 38 社中 30 社が前年同期比で増加し、「大手」は 5 社中 4 社、「準大手」は 9 社中 8 社、「中堅」は 24 社中 18 社と、多くの企業で増加した。
- 「大手」の 2015 年度の受注高予想は、土木の大型公共工事の反動や採算性を重視した案件の選別をすすめることから、前年同期比▲10.4%となった。

【 建築 】

受注高／前年同期比(増加率) 単位:百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
		(増加率)		(増加率)		(増加率)		(増加率)
10年度	3,773,057		1,795,740		1,025,723		6,594,520	
11年度	3,936,751	4.3%	1,743,914	▲ 2.9%	953,120	▲ 7.1%	6,633,785	0.6%
12年度	4,044,735	2.7%	1,755,485	0.7%	1,048,770	10.0%	6,848,990	3.2%
13年度	4,590,783	13.5%	2,024,918	15.3%	1,228,737	17.2%	7,844,438	14.5%
14年度	4,744,138	3.3%	2,375,120	17.3%	1,260,572	2.6%	8,379,830	6.8%

※建築部門集計は建築部門のない不動産テトラを除いて集計。

- 建築部門の受注高は、景況感の改善などから堅調であり、消費増税前の駆け込み需要があった前年同期比でいずれの階層でも増加を維持した。
- 全 37 社中 25 社が前年同期比で増加し、「大手」は 5 社中 3 社、「準大手」は 9 社中 7 社、「中堅」は 23 社中 15 社と、多くの企業で増加した。

【土木】

受注高／前年同期比(増加率)

単位:百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
		(増加率)		(増加率)		(増加率)		(増加率)
10年度	801,151		596,673		695,584		2,093,408	
11年度	1,062,003	32.6%	765,054	28.2%	781,110	12.3%	2,608,167	24.6%
12年度	950,123	▲ 10.5%	744,014	▲ 2.8%	861,738	10.3%	2,555,875	▲ 2.0%
13年度	1,305,818	37.4%	1,049,128	41.0%	1,030,559	19.6%	3,385,505	32.5%
14年度	1,527,604	17.0%	1,363,713	30.0%	1,191,767	15.6%	4,083,084	20.6%

■土木部門の受注高は、大型公共工事の影響があり、2013年度に引き続き、全階層で大幅な増加となった。

■全38社中32社が前年同期比で増加し、「大手」は5社中4社、「準大手」は全9社、「中堅」は24社中19社と、多くの企業で増加した。

② 売上高（連結）

売上高／前年同期比(増加率)

単位:百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
		(増加率)		(増加率)		(増加率)		(増加率)
10年度	6,034,914		2,886,119		2,355,877		11,276,910	
11年度	6,339,835	5.1%	3,045,983	5.5%	2,235,904	▲ 5.1%	11,621,722	3.1%
12年度	6,764,244	6.7%	3,240,499	6.4%	2,336,246	4.5%	12,340,989	6.2%
13年度	7,185,954	6.2%	3,436,954	6.1%	2,622,546	12.3%	13,245,454	7.3%
14年度	7,759,415	8.0%	3,609,525	5.0%	2,701,867	3.0%	14,070,807	6.2%
15年度予想	7,940,000	2.3%	3,736,000	3.5%	2,697,300	2.4%	14,373,300	2.6%

※15年度予想は大和小田急建設が当該年度の業績予想をしていないため、増加率は14年度の実績から大和小田急建設の数値を控除したものを使用して算定した。

■売上高は、好調な受注を背景に手持ち工事が増加したことにより全階層とも堅調に増加し、総計で前年同期比6.2%増となった。

■前年同期比で増加したのは、「大手」は全5社、「準大手」は9社中6社、「中堅」は26社中17社であり、多くの企業が増加した。

■2015年度については、いずれの階層も増加を予想しており、総計でも前期を上回る水準となることが予想されている。

③ 売上総利益（連結）

売上総利益／前年同期比（増加率）／売上総利益率 単位：百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
	売上総利益	売上総利益率	売上総利益	売上総利益率	売上総利益	売上総利益率	売上総利益	売上総利益率
10年度	498,326 (増加率)	8.3%	228,562 (増加率)	7.9%	200,942 (増加率)	8.5%	927,830 (増加率)	8.2%
11年度	505,450 1.4%	8.0%	201,587 ▲ 11.8%	6.6%	164,352 ▲ 18.2%	7.4%	871,389 ▲ 6.1%	7.5%
12年度	473,945 ▲ 6.2%	7.0%	147,036 ▲ 27.1%	4.5%	165,914 1.0%	7.1%	786,895 ▲ 9.7%	6.4%
13年度	518,731 9.4%	7.2%	241,929 64.5%	7.0%	213,657 28.8%	8.1%	974,317 23.8%	7.4%
14年度	586,587 13.1%	7.6%	308,532 27.5%	8.5%	253,407 18.6%	9.4%	1,148,526 17.9%	8.2%

- 2013 年度に引き続き、売上総利益は利益額・利益率ともに全階層で増加・上昇し、総計で利益額は前年同期比 17.9%増と大幅に増加し、利益率は同 0.8%ポイント上昇した。
- 全階層で利益額が増加し、「大手」は 13.1%増、「準大手」は 27.5%増、「中堅」は 18.6%増と大幅な増加となった。利益率も全階層で改善し、前年同期比で「大手」は 0.4%ポイント、「準大手」は 1.5%ポイント、「中堅」は 1.3%ポイント上昇した。
- 利益額について、「大手」は 5 社中 4 社、「準大手」は全 9 社、「中堅」は 26 社中 25 社が増益となった。
- 利益率について、「大手」は 5 社中 4 社、「準大手」は 9 社中 8 社、「中堅」は 26 社中 24 社が上昇した。
- 過去の不採算工事の影響を脱しつつあることや、採算重視の受注取組により、売上総利益は全体的に改善傾向にある。

④ 販売費及び一般管理費（連結）

販売費／前年同期比(増加率)／販管費率 単位:百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
	販売費	販管費率	販売費	販管費率	販売費	販管費率	販売費	販管費率
10年度	379,525 (増加率)	6.3%	162,992 (増加率)	5.6%	152,364 (増加率)	6.5%	694,881 (増加率)	6.2%
11年度	379,645	0.0%	153,751 ▲ 5.7%	5.0%	143,685 ▲ 5.7%	6.4%	677,081 ▲ 2.6%	5.8%
12年度	372,983 ▲ 1.8%	5.5%	156,011 1.5%	4.8%	137,953 ▲ 4.0%	5.9%	666,947 ▲ 1.5%	5.4%
13年度	372,379 ▲ 0.2%	5.2%	156,559 0.4%	4.6%	139,188 0.9%	5.3%	668,126 0.2%	5.0%
14年度	377,342 1.3%	4.9%	167,974 7.3%	4.7%	143,860 3.4%	5.3%	689,176 3.2%	4.9%

■販管費は、いずれの階層でも増加したことにより、総計は前年同期比 3.2%増加となった。

■販管費率は、売上高の増加もあり、総計は前年同期比 0.1%ポイント低下した。

⑤ 営業利益（連結）

営業利益／前年同期比(増加率)／営業利益率 単位:百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
	営業利益	営業利益率	営業利益	営業利益率	営業利益	営業利益率	営業利益	営業利益率
10年度	118,799 (増加率)	2.0%	65,567 (増加率)	2.3%	48,572 (増加率)	2.1%	232,938 (増加率)	2.1%
11年度	125,801 5.9%	2.0%	47,834 ▲ 27.0%	1.6%	20,661 ▲ 57.5%	0.9%	194,296 ▲ 16.6%	1.7%
12年度	100,960 ▲ 19.7%	1.5%	▲ 8,979 赤字転落	▲ 0.3%	27,956 35.3%	1.2%	119,937 ▲ 38.3%	1.0%
13年度	146,350 45.0%	2.0%	85,365 黒字転換	2.5%	74,458 166.3%	2.8%	306,173 155.3%	2.3%
14年度	209,243 43.0%	2.7%	140,553 64.6%	3.9%	109,534 47.1%	4.1%	459,330 50.0%	3.3%
15年度予想	254,500 21.6%	3.2%	151,500 7.8%	4.1%	94,210 ▲ 11.7%	3.5%	500,210 9.6%	3.5%

※15年度予想は大和小田急建設が当該年度の業績予想をしていないため、増加率は14年度の実績から大和小田急建設の数値を控除したものを使用して算定した。

■営業利益は利益額・利益率ともに全階層で増加・上昇し、総計では利益額は前年同期比約 1.5 倍となり、利益率は同 1.0%ポイント上昇した。

■全 40 社が営業黒字を確保した。営業利益が増加したのは、「大手」は 5 社中 4 社、「準大手」は全 9 社、「中堅」は全 26 社であり、ほぼ全ての企業が利益を増加させた。

■2015 年度予想では、「大手」は 5 社中 4 社、「準大手」は 9 社中 5 社、「中堅」は大和小田急建設を除いた 25 社中 9 社が営業増益を見込んでおり、総計では 9.6%増となる見込みである。

⑥ 経常利益（連結）

経常利益／前年同期比(増加率)／経常利益率 単位:百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
	経常利益	経常利益率	経常利益	経常利益率	経常利益	経常利益率	経常利益	経常利益率
10年度	105,199 (増加率)	1.7%	54,718 (増加率)	1.9%	46,320 (増加率)	2.0%	206,237 (増加率)	1.8%
11年度	133,947 27.3%	2.1%	42,482 ▲ 22.4%	1.4%	19,677 ▲ 57.5%	0.9%	196,106 ▲ 4.9%	1.7%
12年度	134,311 0.3%	2.0%	▲ 7,193 赤字転落	▲ 0.2%	30,104 53.0%	1.3%	157,222 ▲ 19.8%	1.3%
13年度	174,881 30.2%	2.4%	88,133 黒字転換	2.6%	74,478 147.4%	2.8%	337,492 114.7%	2.5%
14年度	250,358 43.2%	3.2%	147,110 66.9%	4.1%	112,743 51.4%	4.2%	510,211 51.2%	3.6%
15年度予想	263,500 5.2%	3.3%	149,900 1.9%	4.0%	92,500 ▲ 15.7%	3.4%	505,900 ▲ 0.3%	3.5%

※15年度予想は大和小田急建設が当該年度の業績予想をしていないため、増加率は14年度の実績から大和小田急建設の数値を控除したものを使用して算定した。

■経常利益は利益額・利益率ともに全階層で増加・上昇し、総計では、利益額は前年同期比約1.5倍となり、利益率は同1.1%ポイント上昇した。

■「大手」は5期連続で増加、「準大手」は2期連続の増加、「中堅」は3期連続の増加となり、各階層において過去5年間で最高の水準となった。

⑦ 特別利益・特別損失の内訳（連結）

単位:百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
	13年度	14年度	13年度	14年度	13年度	14年度	13年度	14年度
特別利益	38,768	37,837	26,747	9,712	10,021	18,517	75,536	66,066
投資有価証券売却益	32,769	26,872	4,563	4,024	5,252	16,020	42,584	46,916
固定資産売却益	3,848	5,510	10,009	3,772	2,109	1,821	15,966	11,103
負ののれん益	0	782	10,222	719	1,258	48	11,480	1,549
特別損失	42,274	30,569	11,463	16,133	5,417	7,291	59,154	53,993
投資有価証券評価損	9,679	16	479	90	201	94	10,359	200
固定資産除却損	720	236	651	675	660	875	2,031	1,786
減損損失	11,878	14,060	6,094	4,273	1,991	3,849	19,963	22,182
特別損益	▲ 3,506	7,268	15,284	▲ 6,421	4,604	11,226	16,382	12,073

■特別損益は、全階層で投資有価証券評価損が減少したことなどにより、総計では前年度に引き続き黒字を維持している。

■「準大手」は、2013年度に「負ののれん発生益」を約101億円計上した1社、2014年度に「偶発損失引当金繰入額」を約57億円増加させた1社の影響があり、変動が大きい。

※上記の特別利益・損失の内訳は各社の分類によるものであり、企業によっては、上記項目に該当するものでも、「その他」等ここで挙げていない項目に含めているものがある。

⑧ 当期純利益（連結）

当期純利益／前年同期比(増加率)／当期純利益率 単位:百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
	当期純利益	当期純利益率	当期純利益	当期純利益率	当期純利益	当期純利益率	当期純利益	当期純利益率
10年度	68,351	(増加率)	18,664	(増加率)	16,231	(増加率)	103,246	(増加率)
11年度	13,859	▲ 79.7%	6,258	▲ 66.5%	122	▲ 99.2%	20,239	▲ 80.4%
12年度	68,697	395.7%	▲ 50,945	赤字転落	11,600	9,390.9%	29,352	45.0%
13年度	95,817	39.5%	81,270	黒字転換	55,473	378.2%	232,560	692.3%
14年度	138,953	45.0%	97,032	19.4%	89,969	62.2%	325,954	40.2%
15年度予想	162,000	16.6%	102,200	5.3%	62,400	▲ 29.3%	326,600	0.7%

※15年度予想は大和小田急建設が当該年度の業績予想をしていないため、増加率は14年度の実績から大和小田急建設の数値を控除したものを使用して算定した。

■経常利益・特別損益の改善により、当期純利益は利益額・利益率ともに全階層で増加・上昇し、総計では利益額は前年同期比約1.4倍となり、3期連続で増加した。利益率は同0.5%ポイント上昇した。

■「大手」「中堅」は3期連続の増加、「準大手」は2期連続の増加となった。

■当期純利益が増加したのは、「大手」は5社中4社、「準大手」は9社中8社、「中堅」は全26社とほぼ全ての企業が利益を増加させ、全40社が最終黒字を確保した。

⑨ 有利子負債（連結）

有利子負債／前年同期比(増加率) 単位:百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
	有利子負債	(増加率)	有利子負債	(増加率)	有利子負債	(増加率)	有利子負債	(増加率)
10年度	1,992,011	(増加率)	633,349	(増加率)	423,177	(増加率)	3,048,537	(増加率)
11年度	1,792,269	▲ 10.0%	595,198	▲ 6.0%	390,810	▲ 7.6%	2,778,277	▲ 8.9%
12年度	1,679,429	▲ 6.3%	548,103	▲ 7.9%	373,464	▲ 4.4%	2,600,996	▲ 6.4%
13年度	1,608,598	▲ 4.2%	513,031	▲ 6.4%	341,141	▲ 8.7%	2,462,770	▲ 5.3%
14年度	1,537,501	▲ 4.4%	490,755	▲ 4.3%	317,586	▲ 6.9%	2,345,842	▲ 4.7%

■有利子負債は、総計で前年同期比▲4.7%となった。減少したのは、「大手」は5社中3社、「準大手」は9社中6社、「中堅」は26社中14社であった。

■長期的に有利子負債は減少傾向が続いている。

⑩ 自己資本比率・デットエクイティレシオ（連結）

自己資本比率／前年同期比（増加ポイント）

	大手		準大手		中堅		総計	
10年度	21.5%	増加(P)	26.2%	増加(P)	32.0%	増加(P)	24.6%	増加(P)
11年度	21.1%	▲ 0.4	25.4%	▲ 0.8	32.3%	0.3	24.1%	▲ 0.5
12年度	23.9%	2.8	24.7%	▲ 0.7	33.0%	0.7	25.7%	1.6
13年度	25.1%	1.2	25.4%	0.8	33.9%	0.9	26.8%	1.0
14年度	27.9%	2.8	28.5%	3.1	38.0%	4.1	29.8%	3.0

デットエクイティレシオ／前年同期比（増加ポイント）

	大手		準大手		中堅		総計	
10年度	1.34	増加(P)	0.89	増加(P)	0.60	増加(P)	1.05	増加(P)
11年度	1.20	▲ 0.14	0.83	▲ 0.05	0.55	▲ 0.05	0.95	▲ 0.10
12年度	0.96	▲ 0.24	0.78	▲ 0.05	0.51	▲ 0.05	0.82	▲ 0.14
13年度	0.82	▲ 0.14	0.69	▲ 0.10	0.43	▲ 0.07	0.70	▲ 0.11
14年度	0.65	▲ 0.17	0.55	▲ 0.14	0.34	▲ 0.09	0.56	▲ 0.14

■自己資本比率は、自己資本の増加により、全階層で比率が上昇している。

■デットエクイティレシオは、自己資本の増加に加えて有利子負債の減少により、総計で0.14ポイント低下し、全階層で財務体質の改善が進んでいる。

※自己資本比率は、自己資本÷総資産で算出。デットエクイティレシオは、有利子負債÷自己資本で算出。

⑪ キャッシュフロー（連結）

営業CF

単位：百万円

	大手	準大手	中堅	総計
10年度	373,646	126,360	89,318	589,324
11年度	319,035	55,463	74,180	448,678
12年度	198,791	113,164	39,727	351,682
13年度	226,132	59,419	42,205	327,756
14年度	228,715	88,934	5,647	323,296

投資CF

単位：百万円

	大手	準大手	中堅	総計
10年度	▲ 63,398	▲ 14,576	19,951	▲ 58,023
11年度	▲ 84,386	▲ 14,974	▲ 25,204	▲ 124,564
12年度	▲ 36,158	▲ 11,621	▲ 11,969	▲ 59,748
13年度	▲ 60,535	29,897	13,048	▲ 17,590
14年度	▲ 35,964	▲ 18,575	11,555	▲ 42,984

財務CF

単位：百万円

	大手	準大手	中堅	総計
10年度	▲ 222,581	▲ 78,916	▲ 84,204	▲ 385,701
11年度	▲ 176,726	▲ 51,730	▲ 43,178	▲ 271,634
12年度	▲ 153,993	▲ 62,304	▲ 27,690	▲ 243,987
13年度	▲ 78,696	▲ 61,485	▲ 42,137	▲ 182,318
14年度	▲ 108,447	▲ 52,731	▲ 37,145	▲ 198,323

■営業CFは、「準大手」が増加、「中堅」が減少したが、総計ではほぼ横ばい。投資CFにおいては、「準大手」が2013年度には「有形及び無形固定資産の売却による収入」を約356億円計上した1社の影響から大幅なプラスとなっていたが再びマイナスに転じ、総計では、マイナスが増加した。財務CFも、マイナスが増加した。

◆5. 参考資料

●受注高(合計)増加率 (単位:社)

	減少		増加		合計
	10%以上	0%以上10%未満	0%以上10%未満	10%以上	
大手	0	1	3	1	5
準大手	0	1	0	8	9
中堅	2	4	7	11	24
総計	2	6	10	20	38

●受注高(建築)増加率 (単位:社)

	減少		増加		合計
	10%以上	0%以上10%未満	0%以上10%未満	10%以上	
大手	1	1	2	1	5
準大手	0	2	1	6	9
中堅	5	3	6	9	23
総計	6	6	9	16	37

※建築部門集計は建築部門のない不動産テトラを除いて集計。

●受注高(土木)増加率 (単位:社)

	減少		増加		合計
	10%以上	0%以上10%未満	0%以上10%未満	10%以上	
大手	0	1	0	4	5
準大手	0	0	2	7	9
中堅	4	1	6	13	24
総計	4	2	8	24	38

※前回土木の受注がない新日本建設は10%以上に集計。

●売上高増加率(連結) (単位:社)

	減少		増加		合計
	10%以上	0%以上10%未満	0%以上10%未満	10%以上	
大手	0	0	3	2	5
準大手	0	3	3	3	9
中堅	1	8	15	2	26
総計	1	11	21	7	40

●売上総利益/利益率増加率(連結) (単位:社)

	利益減少		利益増加		合計
	利益率低下	利益率上昇	利益率低下	利益率上昇	
大手	1	0	0	4	5
準大手	0	0	1	8	9
中堅	1	0	1	24	26
総計	2	0	2	36	40

●営業利益(連結) (単位:社)

	減少	増加	合計
大手	1	4	5
準大手	0	9	9
中堅	0	26	26
総計	1	39	40

●経常利益(連結) (単位:社)

	減少	増加	合計
大手	1	4	5
準大手	0	9	9
中堅	0	26	26
総計	1	39	40

●当期純利益(連結) (単位:社)

	減少	増加	合計
大手	1	4	5
準大手	1	8	9
中堅	0	26	26
総計	2	38	40

●有利子負債(連結)／前年同期比(増加率) (単位:社)

	ゼロで不変	減少	横ばい	増加	合計
大手	0	3	0	2	5
準大手	0	6	0	3	9
中堅	5	14	0	7	26
総計	5	23	0	12	40